保証書

マイコン沸とうVE電気まほうびん　保証書		持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	CV-DT22/DT30/DT40	修理メモ
●お客様 お名前	☎	
ご住所　〒		
●お買い上げ日　年　月　日	●販売店名・住所	
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	☎	

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   (ロ)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
   (ニ)一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載)に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ)本書のご提示がない場合。
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   (ト)消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

愛情点検　長年ご使用のマイコン沸とうVE電気まほうびんの点検を!

こんな症状はありませんか
●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●保温ランプに切りかわらないときがある
●その他の異常や故障がある

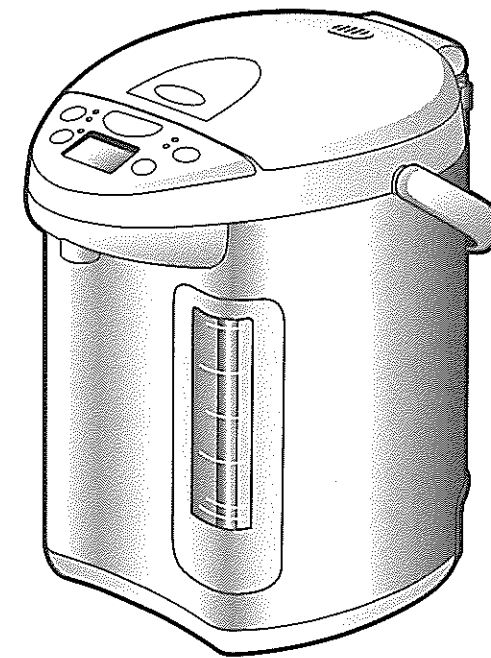
ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

CV-DT 型　ⒸⒷ

ZOJIRUSHI

マイコン沸とう　家庭用

VE電気まほうびん
取扱説明書

型名 CV-DT22/DT30/DT40 型

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき

もくじ

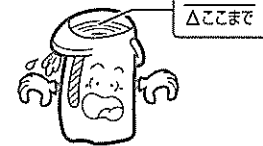
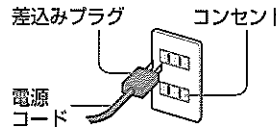
安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷※1を負うことが想定される内容を表します。

取り扱いを誤った場合、傷害※2または物的損害※3の発生が想定される内容を表します。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

△ 記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠ 警告

改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水につけたり、水をかけたりしない
流し台など水にぬれた場所に置かない
ショート・感電の恐れがあります。

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

蒸気口に手を触れない
やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

蒸気口をふきんなどでふさがない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

満水表示以上の水を入れない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

上ぶたをつけたまま残り湯をすてない
禁止
上ぶたがはずれたときに湯がかかってやけどする恐れがあります。

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない
自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

ポットを転倒させない
自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

上ぶたを勢いよく閉めない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

氷を入れて保冷用に使わない
結露が生じ、感電、故障の恐れがあります。

交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

水以外のものをわかさない
お茶、牛乳、酒などはわき上がるときにふき出してやけどの恐れがあります。

● お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠ 警告

器具用プラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない
感電・ショート・発火の原因になります。

器具用プラグをなめさせない
感電やけがの原因になります。特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

上ぶたは確実に閉める
倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

⚠ 注意

上ぶたを開けるとき、出る蒸気に触れない
やけどの原因になります。

使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
やけどの原因になります。

本体を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない
上ぶたが開いてけがややけどをすることがあります。

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

出湯中に本体を回さない
湯が飛び散りやけどの恐れがあります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。

湯わかし中は、湯を注がない
湯が飛び散りやけどの原因になります。

専用の電源コード以外は使用しない
電源コードは他の機器に転用しない
故障、発火の恐れがあります。

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。

お願い

■ **空だきはしない**
火災・故障の原因になります。

■ **落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない**
故障・破損の原因になります。

■ **キッチン用収納棚などの上で湯わかしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する**
変色や変形の原因になります。

■ **熱源のそばやIH調理器の上で使用しない**
火災・故障の原因になります。

■ **本体を引きずって移動しない**
机などに傷がつく恐れがあります。

■ **水以外のもの（氷・スープ・牛乳・レトルト食品・お茶など）は入れない**
ティーバッグやお茶の葉を入れてわかしたり、インスタント食品を調理したりすると泡立ち、内容物がふき出してやけどをすることがあります。また水路が詰まったり内容器の焦げつきや腐食、フッ素被膜がはがれる原因になります。

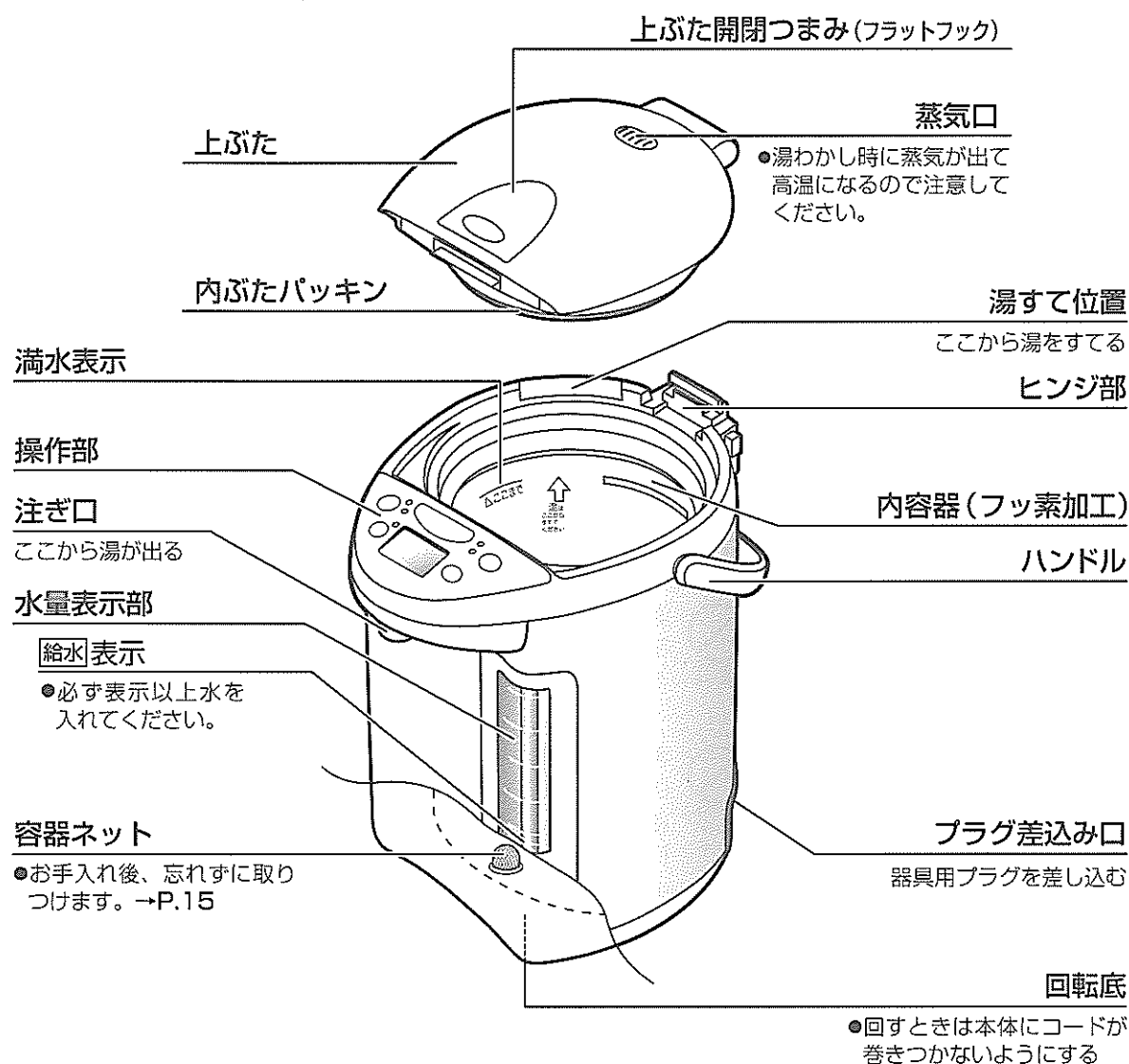
■ **凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器内の水を完全にすてる**
凍結による故障の原因になります。

■ **パネル部には湯がかからないように注意する**
故障の原因になります。
（図：操作パネル／水量パネル）

■ **ラジオなどの近くで使わない**
ラジオ、テレビ、無線機、インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音が入る恐れがあります。

■ **他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない**
蒸気により、電気機器の火災、故障、変色、変形の原因になります。

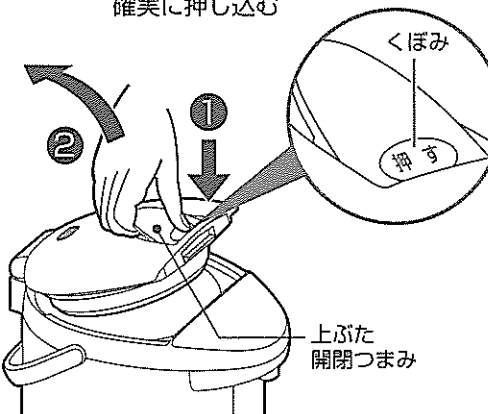
各部のなまえと扱い方

本 体

付属品

操作部 ●キーは確実に押してください。

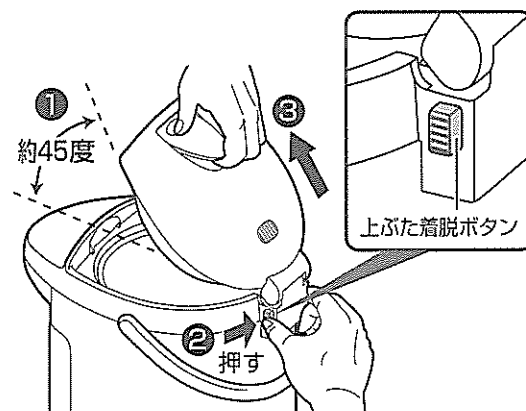
上ぶたの開け方・閉め方

開け方 ❶「上ぶた開閉つまみ」のくぼみを押す
❷そのまま引き上げ、上ぶたを開ける

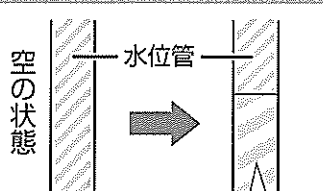
閉め方 上ぶたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

上ぶたのはずし方・つけ方

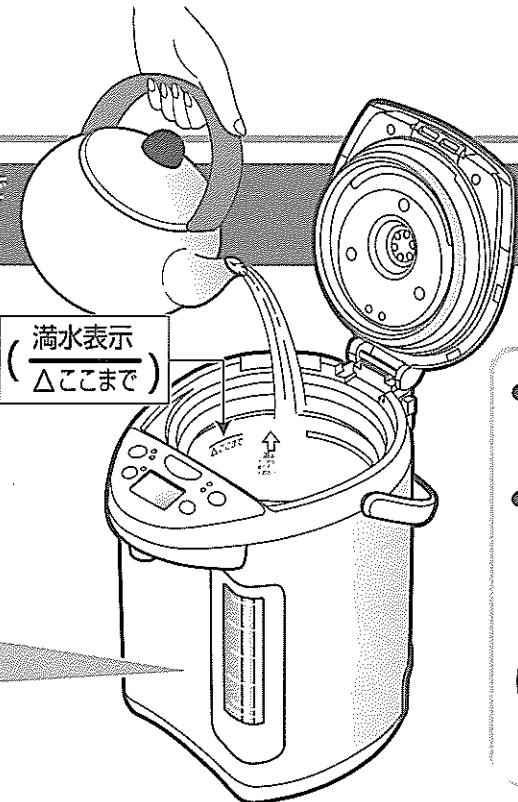
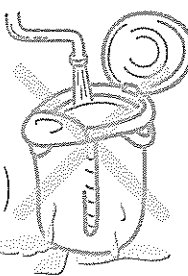
はずし方 ❶上ぶたを約45度開ける
❷「上ぶた着脱ボタン」を押す
❸押したまま、斜め上に引き抜く

つけ方 斜め上から奥に元どおり押し込む

約45度
上ぶた着脱ボタン
押す

湯をわかす

1 上ぶたを開け、別の容器で 水を入れる

水位管のストライプラインの太さがかわり水の量がひと目で分かります。

水を入れるとストライプラインが太くなります。

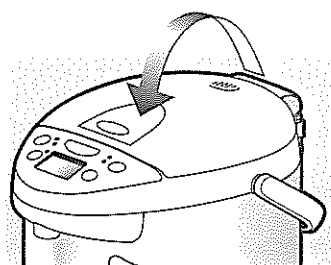
お願い

- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさない（本体に水が入り故障の原因）
- 本体および操作部に水がかからないように注意する（水が入り故障の原因）
- 「満水表示」以上、水を入れない（蒸気口から湯がふきこぼれる原因）
- 熱湯を入れない（空だき防止機能がはたらく原因）→P.9
- 水以外のものは入れない
- 市販の水質改質材（炭など）やミネラル添加材を入れて使用しない（かけらが詰まり故障の原因）

使い初めはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

● 初めてお使いになるとき
● 長期間お使いにならなかったとき

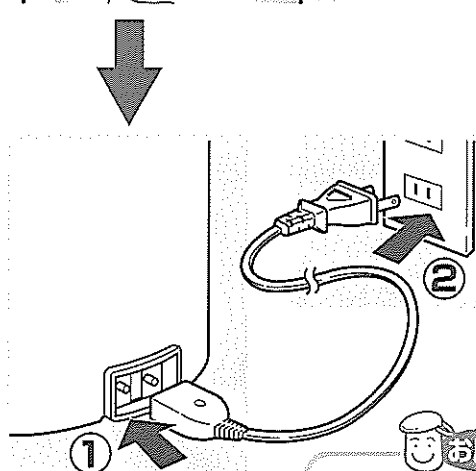
容器ネットを取りつけ、一度湯をわかし、ロックを解除して「給湯」キーを押して1L程度の湯を注いだ後、残り湯をすててから、ご使用ください。

● ミネラルウォーターの使用について

一部のミネラルウォーターを使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。

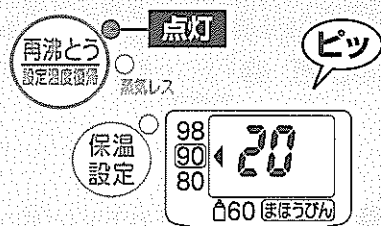
2 上ぶたを閉め プラグを接続する

上ぶたは確実に閉める
（倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れ）

奥までしっかり差し込む
（感電・ショート・発煙・発火の原因）

お願い

- 器具用プラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させないでください。

蒸気セーブを行いながら

自動的に湯わかしを開始

沸とうランプが点灯し、液晶表示部に水温を5℃きざみで表示する

蒸気セーブ（沸とう）

沸とう直前にヒーターのパワーを下げ、気になる蒸気をおさえた、沸とう湯わかし機能です。
（湯温は約100℃になります）

蒸気レスモード

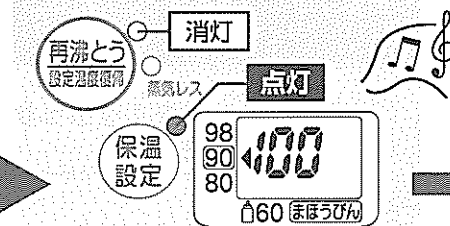
蒸気レスモードを選ぶと、沸とう前にヒーターを切り、さらに蒸気をおさえることができます。
（湯温は95℃前後になります）
→P.12

- 室温が低い冬場や湯の量が少ない場合は蒸気が見えやすくなります。

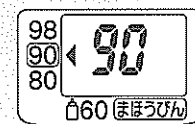
湯わかしが完了するとメロディーが鳴り

自動的に保温を開始（90保温）

この取扱説明書では、お買い上げ時に設定されている メロディー報知 で手順を説明しています。→P.14

約90℃になると液晶表示部の温度表示が「90」にかわります。

湯わかしが終わるまで

容量	時間
2.2L	約21分※1
3.0L	約26分※1
4.0L	約32分※1

※1 この時間には沸とう後のカルキとばし時間（約4分）が含まれています。（室温20℃、水温20℃、満水）

約90℃になるまで

容量	時間
2.2L	約1時間10分
3.0L	約1時間20分
4.0L	約1時間30分

90保温

98保温に比べ、保温電気代が
22サイズで約34%※2
30サイズで約41%※2
40サイズで約51%※2
節約になります。

※2 1日2回給水湯わかし・2回再沸とう24時間/日・365日/年使用し、湯わかし2回・再沸とう2回分を引いた電気代

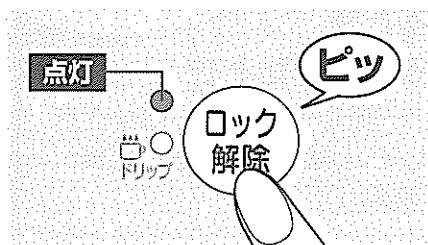
● 保温の設定 ●

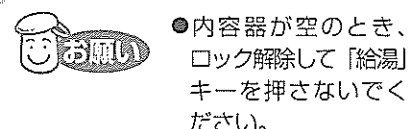
お願い

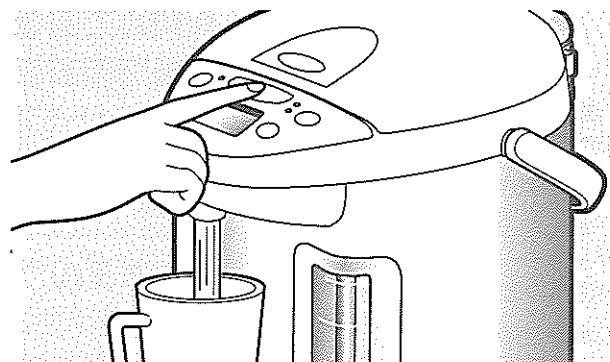
- 保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。（自動的に湯わかしが始まります）
  ただし、つぎ足す水の量が少ないと湯わかしにならない場合があります。その場合は「再沸とう/設定温度復帰」キーを押してください。→P.9
- やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。
  - 蒸気口にふきんをかけない
  - 蒸気口から出る蒸気に注意する
  - 沸とうランプ点灯中は上ぶたを開けない
  - 湯わかし中は湯を注がない

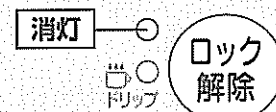
使い方

湯を注ぐ

1 ロック解除 を押す

ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。

- ロック解除ランプが消えているときは湯は出ません。

- 内容器が空のとき、ロック解除して「給湯」キーを押さないでください。

2 給湯 を押して湯を注ぐ

注ぐとき本体が回らないように注意してください。

- 1杯目の湯は、ぬるくなることがあります。
- 沸とう中や沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。
- 湯わかしおよび保温中は本体が熱くなりますので注意してください。

注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消え、「自動給湯ロック」がかかります。

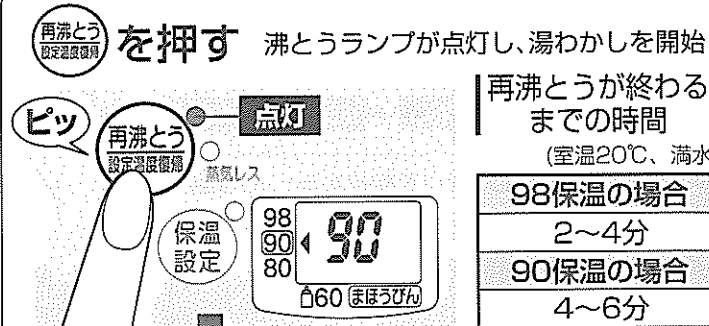
自動給湯ロック
うっかり「給湯」キーに触れたとき、湯が出ない安全機能です。

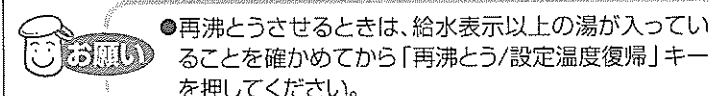
- 注がないときも約10秒後にロックされます。

再沸とう 保温中の湯を再びわかすときに使います。

再沸とう/設定温度復帰 を押す 沸とうランプが点灯し、湯わかしを開始

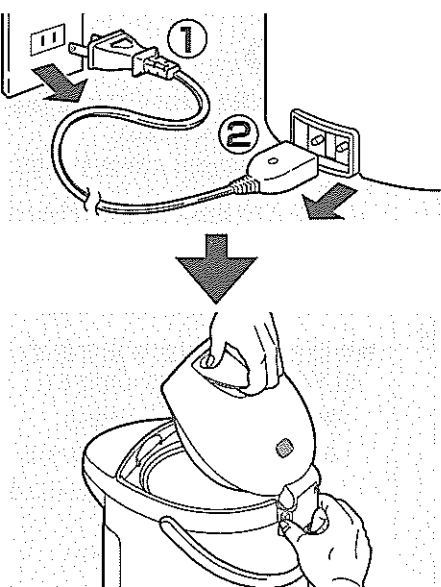
再沸とうが終わるまでの時間 (室温20℃、満水)
98保温の場合
2〜4分
90保温の場合
4〜6分

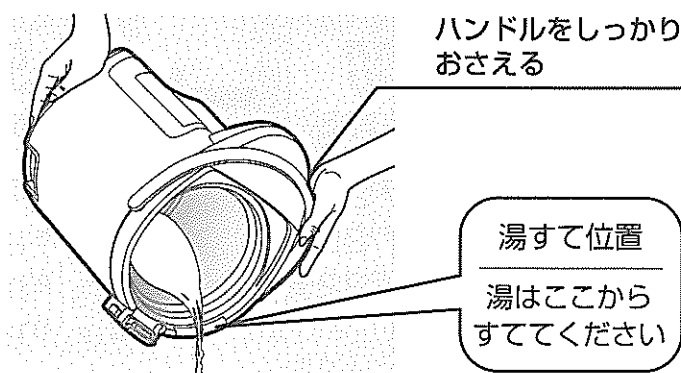
ピッ 点灯 再沸とう/設定温度復帰 蒸気レス 保温設定 98 90 80 90 60 まほうびん

再沸とうが完了すると保温に切りかわります

- 「再沸とう/設定温度復帰」キーを2度押すと蒸気レスモードに入ります。→P.12
- 再沸とう時は、蒸気セーブにならないことがあります。
- 再沸とう中や再沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。
- 省エネモード選択時は再沸とうしません。再沸とうさせたい場合は、一度省エネモードを解除してから「再沸とう/設定温度復帰」キーを押してください。

- 再沸とうさせるときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「再沸とう/設定温度復帰」キーを押してください。

使い方

残り湯をすてる

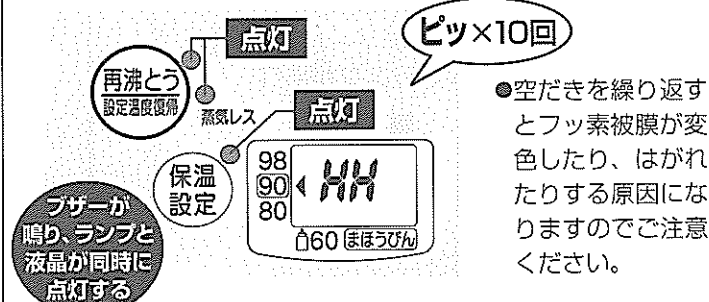
1 プラグを抜き、上ぶたをはずす

2 両手で本体を持ち「湯すて位置」からすてる

お願い

- 容器ネットをなくさないでください。
- 1日1回は残り湯をすててください。(水アカの付着の原因になります。)

お願い

- ぬれた手で差込みプラグや器具用プラグを持たない (ショート・感電の恐れ)
- 上ぶたは必ずはずして湯をすてる (上ぶたがはずれ、やけどの原因)
- 注ぎ口からのしずくが手にかからないよう注意する (やけどの原因)
- 操作部やヒンジ部・ハンドル・プラグ差込み口に湯がかからないよう注意する (やけど・故障の原因)

空だき防止

- 空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になりますのでご注意ください。

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいてヒーターへの通電が止まり、表示とブザーでお知らせします。

- 水を入れずにプラグを接続したとき
- 給水表示以下の水量で湯わかししたとき
- 湯を使いきったまま放置したり、給水するため上ぶたを開けたまま放置したとき
- プラグを接続後、すぐ熱湯を入れたとき

処置 プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続する